

◎情報活用能力とは

予測困難なこれからの社会において、「子供たち自身で問題を解決したり、そもそもどのような問題があるのか発見したり、それらに対する自分の考えを持ったりする」ということを目的とした『情報そのものやICTをはじめとする情報技術を活用する力』

(内田洋行教育総合研究所HP 学びの場.com)

①キーボード入力②情報を見分ける力③情報を作る力④情報モラル



低学年

中学年

高学年



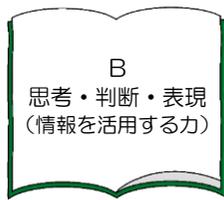
めあて	機器やアプリの基本的な操作ができる
	てがきで もじをかいたり にゅうりょくしたりできる。
	もじの にゅうりょくができる。
	カメラのきのうをつかって しゃしんの さつえいができる。
	カメラのきのうをつかって とうがの さつえいができる。



めあて	機器やアプリの基本的な操作ができ、学習に活用することができる。
	ローマ字入力ができる。(1分間に 文字)
	ローマ字入力ができる。(1分間に 文字)
	metamojiを使うことができる。



めあて	機器やアプリの基本操作を身につけ、学習に活用することができる。
	ローマ字入力ができる。(1分間に 文字)
	ローマ字入力ができる。(1分間に 文字)
	相手や目的に応じて、アプリ (metamoji、Word等) をつかうことができる。
	アプリ (forms、Word等) を使って、アンケートやレポートを作ることができる。



めあて	情報集めの仕方を知り、選ぶことができる。
	①しらべたことを ともだちに えや ことばで つたえることができる。
	②じぶんが べんきょうしたことを ぶりかえることができる。



めあて	情報収集、比較、分類、整理し、自分の考えを説明できる。
	①インターネットや本、新聞などを使って情報を2つ以上集め、正しい情報を見分けることができる。
	②相手を意識し、情報を整理して発表することができる。
	③自分や友だちの情報を参考に発表することができる。
	④自分の考えと友だちの考えを比べて、ぶりかえり、直すことができる。



めあて	情報収集、比較、分類、整理し、自分の考えをわかりやすく表現できる。
	①Web、写真、動画、マスメディアを使って情報をいくつか集め、正しい情報を見分けることができる。
	②プレゼンアプリ (metamojiやPowerPoint等) や文章作成アプリ (Word等) などを使用して、自分の考えをまとめることができる。
	③振り返りを行い、改善点を考え、修正することができる。



めあて	ルールやマナーに気をつけて、情報機器を使うことの大切さを知る。
	③じぶんのタブレットを、たいせつにつかうことができる。
	④ひとが つくったものを たいせつに することができる。
	⑤じかんや ルールをまもって タブレットをつかうことができる。
	⑥ひとに つたえてはいけない じょうほうをまもることができる。



めあて	個人情報の大切さやルール、マナーについて理解する。
	⑤相手のことを考えてわかりやすく情報を発信することができる。
	⑥パスワードの必要性を理解することができる。
	⑦個人情報のあつかいについての注意をすることができる。
	⑧ネット上のルールやマナーを守って、行動することができる。



めあて	情報モラルの必要性を理解し、適切な対応をすることができる。
	④著作物を扱うときには、出典を明らかにする、許諾を取るなどができる。
	⑤セキュリティの必要性を理解することができる。
	⑥個人情報について理解し、安全に管理することができる。
	⑦ネット依存症の影響をふまえ、適切に行動することができる。